

Annual Report

活動レポート 2019.4-2020.3



Vision

YMCAが実現したい世の中の姿

互いを認め合い、高め合う
「ポジティブネット」のある豊かな社会を創る。

YMCA will work towards building communities in which people will respect and enhance one another to bring out their best -rich and inspiring communities connected by people's "Positive Net".

Positive Net

互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、
善意や前向きな気持ちによってつながるネットワークのこと。

Value

YMCAがステークホルダーに提供を約束する価値

したい何かがみつきり、誰かとつながる。
私ができる、かけがえのない場所。

The YMCA is a very special space where you can encounter something,
connect with someone and transform yourself.

みつかる

Encounter

つながる

Connect

よくなる

Transform

総主事メッセージ

Message from General Secretary of The Kumamoto YMCA



熊本YMCA総主事 **岡 成也**

Nariya OKA
General Secretary, KUMAMOTO YMCA

未来に向けて希望をつなぎ、 人々に寄り添う社会貢献の地域基盤に

新型コロナウイルス感染禍の中で、医療従事者はじめ、使命感を持って働きを行っている方々に感謝の意を表します。また、世界中でこの危機を乗り越えていくため、一人ひとりが先の見えない不安と戦っています。そのことを覚えて私たちも使命感を持って働きに行く必要があります。

私たち一人ひとりが自分を大切にすること、自分と同様にひと、もの、そして自然などに敬意をもって、よりよく生きることの大切さを改めて知りました。また、YMCAは世界や日本の課題を自分事として捉え、平和な世界を願い、感染症への対応はじめ、その事象により浮き彫りとなっている悲痛な叫びに耳を傾け、寄り添い働きを行っていくことが求められています。

だからこそ、ポジティブネットのある豊かな社会を創ることをめざして、YMCAのスローガンである、「みつかる。つながる。よくなっていく。」に沿った具体的な行動指針とビジョンをもって、私たちの運動の広がりを通して未来に向けて希望をつなぎ、2028年の熊本YMCA創立80周年を迎えたいと思います。

熊本地震からの復興のシンボルでもある益城町総合体育館の新館落成に加え、新たな指定管理施設として合志市総合健康センター「ユーパレス弁天」が与えられました。持続可能な経営基盤の確立と公益協働事業を通して、地域課題に取り組んでいきます。

2020年度 熊本YMCA運営方針

Policy for 2020



テサロニケの信徒への手紙一 5章13節

1 Thessalonians 5:13

愛をもって心から尊敬し 互いに平和に過ごさない。

Show them great respect and wholehearted love because of their work.

And live peacefully with each other.

1 地域に広がる多様な活動領域を活かして社会課題に取り組みます。

1. 新たなボランティア運動3カ年計画(Vision 2028)を策定します。
2. 公益協働事業を推進し地域に寄り添う活動を展開します。
3. 関係団体との連携、協働を更に強化し社会貢献の地域基盤をめざします。

2 地域や人々に共感と信頼のネットワークを広げます。

1. 経営基盤強化を加速するため基幹事業・施設再編に取り組みます。
2. 人財育成・能力開発に取り組み、プログラムの質の向上を図ります。
3. YMCAの目指す全人的成長と活動目的を見える化します。(ブランド力向上)

3 YMCA伴走サポート(全人的成長)プログラムに取り組みます。

1. 子どもたち一人ひとりの成長に寄り添うプログラムを展開します。
2. グローバルな視点で若者の成長を支援するプログラムを展開します。
3. すべての人の健やかな生活を支える事業や活動を推進します。

4 熊本YMCA80周年(2028年)を見据えてグランドデザインを構築します。

5 新型コロナウイルスによって国内外で困難にある方々への支援活動を行っていきます。

事業報告 Business Report

公益財団法人

ウェルネス事業

Wellness - Health Education

全国YMCA「ウォーターセーフティーキャンペーン」の一環で、6月16日(日)、「みんな泳げる25m運動」を実施。田迎西小・画図小(みなみセンター)、託麻南小(ながみねファミリーセンター)の児童を招待し、水泳指導を行いました。

6月4日(火)、ながみねファミリーセンターを会場に、託麻南校区子育てサークル「ママカムたくさん」の活動で、サーキット遊びやリズム体操を実施しました。0～2歳の子どもと保護者、児童委員などが集い、体育室はにぎやかでした。27日(木)には、田迎西校区社会福祉協議会が主催する「いきい

きサロン」(田迎西コミュニティセンター)にスタッフを派遣し、参加する高齢者を対象に健康体操を指導しました。



みんな泳げる25m運動



ママカムたくさん

野外教育・野事業

Outdoor Education

11月2日(土)～3日(日)、2020年に迎えるYMCAキャンプ100周年を記念したシンポジウムを阿蘇キャンプで開催しました。東京YMCA長期キャンプ「野尻学荘」のプログラムディレクターを務めた、文教大学人間科学部の青山鉄兵准教授が「キャンプの可能性」と題して基調講演。参加者は、グループに分かれ、野外調理や草泊まり(採草作業の期間中、野営するためのスキ製の小屋)作りにも挑戦しました。

YMCAキャンプ100
記念ロゴ



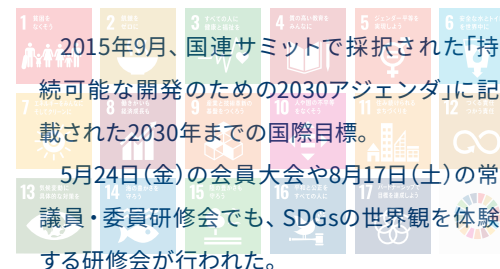
阿蘇キャンプでは、熊本地震以降、災害ボランティアの受入れを継続。4月22日(月)～25日(木)には、東京海上日動火災保険株式会社の90名が農業支援や仮設団地での奉仕作業などを行いました。8月19日(月)～21日(水)、SDGsについて考える科学実験キャンプを開催。参加した子どもたちは、SDG12「つくる責任 つかう責任」をテーマに、短くなった鉛筆の芯を再利用するエコ鉛筆作りなどに取り組みました。

COVID-19 新型コロナウイルス感染症対応

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2020年2月27日(木)、政府は全国の小中高校等の臨時休校を要請。これを受け、熊本YMCAでも3月からプログラムを休講、その間、子どもたちの預かりプログラムやリフレッシュデイキャンプを実施し、不安やストレスを抱える子どもたちに寄り添いました。



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



事業報告 Business Report

公益財団法人

グローバル教育事業

Global Education

4月より上通から中央センターに語学教育の拠点を移し事業を展開しました。

5月12日(日)、中央センターで『『世界一大きな授業のすすめ方』実践者のためのワークショップ』を認定NPO法人開発教育協会(DEAR)と共催しました。「世界中の子どもに教育を」合言葉に、世界100カ国でNGOや教職員などが参加するグローバル・キャンペーンです。県内外から参加した参加者からは「参加型で意欲的に学べる内容だった」「今日の学びを多くの人に伝えたい」などの感想が寄せられました。

10月12日(土)～13日(日)、こどもえいごキャンプを阿蘇キャンプで開催しました。「アニマル」をテーマに、年長から小学6年の29名が参加。子どもたちはすべて英語での説明を聞いて活動する中で、文化や価値観、肌の色といった違いを自然に受け止め、助け合いながら過ごしました。

12月26日(木)～29日(日)、三浦YMCAグローバル・エコ・ヴィレッジで開催された中高生英語キャンプ「English Camp for Global Leadership」に熊本YMCAから高校生4名、中学生1名が参加しました。参加者は4日間、英語で環境問題やジェンダー等の社会的課題についてディスカッションし、最終日には全員がオリジナルスピーチを発表しました。



指定管理事業

Designated Management

御船町スポーツセンター 11月、HIP HOPクラスを開講しました。滝尾小・七滝中央小総合運動クラブでの水泳・陸上・サッカー指導、御船小での心肺蘇生法講習会、上益城郡小学校体育連盟主催の教員対象の水泳指導、公民館での健康教室など、地域の健康増進活動にも積極的に取り組みました。

益城町総合運動公園 災害復旧工事を経て、陸上競技場・テニスコート・町民グラウンドの利用を再開。再建が進んでいた総合体育館も2020年4月に完成し、7月の利用開始に向けて準備が進んでいます。

桃田運動公園 かけっこ教室、サッカー教室、スポーツベシックなどの子どものプログラムに加え、エアロビクス、コグニサイズ、太極舞などの大人向けのプログラムも好評でした。

リフレスおおむた クライミング講習会や陶芸教室など定例活動のほか、ほたる観察会、星空観察会、寄せ植え教室といった多彩なプログラムが人気を博しました。

幼児園・保育事業

Childcare

2歳児が通う体育英語幼児園の合同運動会を10月27日(日)、中央センター体育館で開催しました。ラッコクラス(ながみねセンター)、ペンギンクラス(むさしセンター)は2020年3月をもって閉園を迎えました。

7月1日(月)、ぶどうの木幼児園の年中児16名が御船町の落合仮設団地を訪れ、七夕交流会を行いました。園児は歌を発表し、住民と一緒に願い事を書いた短冊などを飾り付けました。



事業報告 Business Report

学校法人

専門学校

Vocational School

2020年2月14日(金)、ほめ育財団代表で、元神戸YMCAリーダーの原邦雄さんによる講演会を中央センターで開催しました。ほめて人を育てる「ほめ育」を世界に広めるべく活動する原さんが、ほめる基準や風土をつくり、一人ひとりの可能性を伸ばしましょうと呼びかけました。

1月31日(金)、ビジネス総合学科ホテルコースの2年生が中心となって、模擬人前挙式を行いました。同学科には中国やネパールといった海外出身者も在籍し、普段から多国籍な環境で学びを深めていることから、中国出身の新郎役と日本人新婦の国際結婚式という設定で取り組みました。



児童福祉教育科21期生の卒業発表会を1月に開催し、14日(火)に阿蘇市の黒川保育園、17日(金)・18日(土)に熊本市国際交流会館で3公演を行いました。テーマである「パズル」に込めたのは、「一人ひとりに居場所がある」というメッセージ。その居場所を仲間とともにみつけていく創作劇を熱演しました。



日本語学校

Japanese Language School

春期、フランス、フィリピン、中国、ネパール、ベトナム、モンゴル、韓国の7カ国から20名の新入生を迎えました。秋期には、さらにスペインや台湾、アメリカを含めた43名が加わりました。

7月19日(金)、水前寺成趣園で行った日本文化体験では、初めての浴衣姿で公園内を散策し、「お抹茶体験」も楽しみました。



幼稚園

Kindergarten

熊本市から移譲され開園一周年を迎えた熊本五福幼稚園で、熊本地震から3年の4月16日(火)、復興祈念セレモニーを開催しました。3日後、園児が放った100個の風船のうち一つを拾った阿蘇郡西原村の女性から「風船に付けてあったひまわりの種を畑に植えた」と連絡が入り、園児は大いに喜びました。

水前寺幼稚園「Yっこそろばん教室」に通っていた卒園児2名が、12月に開催された全国そろばんコンクール熊本大会で、それぞれ小1、小2部門で1位を獲得しました。

事業報告 Business Report

学校法人

生涯学習・通信制事業

Lifelong Learning / Correspondence

社会福祉学科と精神保健福祉学科は、仕事と両立しながら資格取得のために学ぶ社会人のための講座を実施しています。2019年度修了生の国家試験の合格率は、社会福祉士が48.1%(全国平均29.3%)、精神保健福祉士が90.6%(全国平均62.1%)と、例年高い水準を誇っています。

長崎で通信制の社会福祉士養成を開始し、10年を迎えました。受講生は2カ月に一回程、長崎YMCAでスクーリングに参加しています。

1989年以降30余年にわたり実施してきた介護福祉士をはじめとする介護人材の養成講座は、全日制・通信制ともに募集を一旦停止。今後は、新たな形での介護人材育成に向けて検討を進めていきます。

児童発達支援

Development Support for Children

放課後等デイサービス「YMCA自由なイルカたち」の登録者は2019年度に入り、前年度の7名から19名まで増加しました。子どもたちは日常活動のほか工場や博物館の見学に出かけ



たり、夏祭りやハロウィン、クリスマス会などのイベントを行ったりして過ごしました。

ラグビーワールドカップ2019
ファンゾーン in 熊本

社会福祉法人

就労支援センター

Job Assistance Center

就労支援センターは、障がいのある人たちの自立を支える活動を行っています。

6月2日(日)、中央センターで開催されたきょうされん(共同作業所全国連絡会)結成40周年記念映画「星に語りて〜Starry Sky〜」の上映会・講演会に協力し、来場者にランチを提供しました。



2月、熊本YMCAの三法人(社会福祉法人、公益財団法人、学校法人)が、「熊本市障がい者サポート企業・団体」として認定されました。

保育園

Nursery School

6月、尾ヶ石保育園が三久保、永草保育園が内牧、赤水保育園が北塚、黒川保育園が坊中・池尻の仮設住宅を訪問し、七夕飾りと夏の花を届けるなど、各保育園は近隣の仮設団地住民との交流を続けてきました。

11月9日(土)、阿蘇市で運営する4つの保育園と阿蘇キャンプ合同の「阿蘇まつり」を黒川保育園で開催し、園児による太鼓演奏やダンスで会場は大いに盛り上がりました。また、カトリック宇部教会の片柳弘史神父による講演や食べ物や雑貨を販売するマルシェも行われました。



活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動

子育て広場

Child-rearing Support

前年に続き、熊本市子どもの未来応援基金の助成を受け、「子育て広場わいわい」を開催しました。

9月12日(木)、「小さな国際交流」プログラムを中央センターで開催。熊本YMCA学院グローバルコミュニケーション科の留学生たちが特別参加しました。ネパール、フィリピン、ベトナム出身の留学生は、紙皿をくるっと回すと色にちなんだ野菜や生き物が登場する仕掛け遊びで自己紹介。その後、「いないいないばあ」のネパール語による読み聞かせや「ロンドン橋落ちた」の歌など、15組の親子が留学生と世界の遊びを体験しながら、様々な国の言葉にふれました。



子育て広場

防災活動

Disaster Prevention

8月10日(土)、むさしセンターで防災訓練を実施しました。むさしセンターは、災害発生時に地域住民に対して生活用水としてプールの水を提供することを、合志市と協定しています。訓練は、災害が発生し電気やガス、水道などのライフラインが途絶えてしまったことを想定し行われ、発電機でプールの水を供給するプロセスを確認しました。

ながみね運営委員会は託麻南校区8町内自治会との共催で消防・警察・自衛隊・日本赤十字社・熊本県立大学等の地域機関と連携し「防災まつり」を開催しています。10年目となる2020年3月の活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、中止となりました。



むさしセンター防災訓練



2019年12月8日撮影 ©2010熊本県くまモン

国際ナショナル・チャリティーラン

International Charity Run

12月8日(日)、「第4回熊本YMCA国際ナショナル・チャリティーラン」を熊本県農業公園カントリーパーク(合志市)で開催し、幼児から大人まで600名を超えるランナーがさわやかな汗を流しました。

オープニングでは合志中学校吹奏楽部が演奏を披露。会場には「くまモン」も応援に駆けつけ、参加者を激励しました。また、様々なグルメが味わえるフードパークも併設し、応援の人たちや運営ボランティアを含む約1200名の来場者で賑わいました。益金はYMCAの障がい児プログラムのために活用されます。



活動報告 Activity Report | Community Services

地域活動・ボランティア活動

特別キャンプ

Special-needs Camp

熊本県立盲学校、ワイズメンズクラブに支えられ継続している、視覚障がい児の「ポニーキャンプ」を7月25日(木)～26日(金)に実施しました。今回は、菊池少年自然の家を会場に、川遊びや草スキーを楽しみました。



熊本県自閉症協会などとの協働で取り組む、発達障がいのある子どもたちの「コスモスキャンプ」は8月16日(金)～17日(土)に実施。子どもたちはパートナーリーダーと共に阿蘇の大自然の中で様々なアクティビティにチャレンジしました。

東日本大震災、九州北部豪雨災害、熊本地震で被災した子どもたちの心のケアを目的とした「あそぼうキャンプ」は8月23日(金)～25日(日)に実施し、8回目を迎えました。医師グループ、心理グループ、キャンプ専門グループ、キリスト教系グループなど全国の専門家やユースリーダーの協力を得て、参加した子どもたちは楽しいひと時を過ごしました。

企業協働の社会貢献活動

Philanthropy

7月30日(火)、YMCAフィランソロピー協会は、熊本地震復興支援「夏休み会社見学ツアー」に、益城町木山・馬水仮設団地の子どもたち11名を招待しました。銀行での模擬紙幣を使ってお札を数えたり、1億円の重さを感じたりする体験の後、放送局では、撮影に使用されているスタジオや映像・音声を調整する操作室などを見学して回りました。

8月22日(木)には、桜の馬場城彩苑多目的交流施設で、児童養護施設の中高生を対象に「おしごとカフェ」を開催。県内5つの児童養護施設の中高生や職員がマナー講座やブース説明会に臨み、参加した生徒は「具体的な話が聞けて参考になった」と笑顔で感想を述べました。



ピンクシャツデー

Pink Shirt Day

世界的いじめ反対運動「ピンクシャツデー」に賛同し、学生やプログラムに参加する子どもたちが、ピンクのウェアや小物を身に着けて「いじめのない世界」の実現を呼びかけました。



ある日、ピンクのポロシャツを着て登校した少年が「ホモセクシャルだ」といじめられた。それを聞いた先輩2人が75枚のピンクシャツを購入。インターネットで「明日、一緒に学校でピンクのシャツを着よう」と呼びかけ、翌日ピンクのシャツや小物を身に着けて登校した数百名の生徒で学校中がピンク色に染まり、いじめが自然となくなったという。

このエピソードはSNS等で世界中に広まり、今では70カ国以上でいじめに反対する活動が行われている。この出来事があったのが、2月の最終水曜日だったことから、日本のYMCAでは毎年2月の最終水曜日を中心にいじめについて考える取組みを行っている。

活動報告 Activity Report | Global Corporation and Exchange

国際協力・国際交流



日韓青少年交流

Japan - Korea Youth Exchange

8月19日(月)、YMCA学院の専門学校生、大学生を含む6名が、韓国大邱を訪問し、21日(水)にかけて大邱YMCAのコースと交流を深めました。1981年に始まった日韓視覚障がい青少年交流プログラムから数えて36回目。

日韓関係の悪化に伴い大邱直行便が運休したことを受け、例年参加している熊本県立盲学校では参加を断念。市民レ

ベルで交流を続けようという両者の意志で実現しました。参加した学生は「心配とは反対に、現地の人たちはやさしく接してくれました。小さな交流が関係改善につながればいい」と話しました。

11月8日(金)～10日(日)に開催した第27回熊本・大邱YMCA役員協議会では、大邱から2名の学生を含む10名を迎え入れ、日韓間の交流について意見を交わしました。

海外からボランティアツアー

International Disaster Relief Tours

7月8日(月)～14日(日)、台湾・彰化YMCAから熊本地震復興支援を目的としたボランティアツアーを受け入れました。彰化YMCAは、2020年1月20日(月)～24日(金)にも再訪。また、1月9日(木)～14日(火)には香港中華YMCAの引率で香港理工大学から、1月30日(木)～2月6日(木)には台中YMCAからもボランティアが熊本を訪れました。阿蘇キャンプを拠点に、被災地の見学や被災農家の作業支援を行ったほか、益城町木山仮設団地で暮らす住民や県内学生とも交流。海外からの応援が復興の後押しとなりました。



活動報告 Activity Report | Global Corporation and Exchange

国際協力・国際交流

東ティモールYMCAから総主事が来訪

Exchange with Timor-Leste

9月6日(金)～9日(月)、東ティモールYMCAのアントニオ総主事が来日し、7日(土)、ながみねファミリーセンターで懇談交流会を開催しました。2012年、アジア・太平洋YMCA同盟を介して、熊本YMCAと東ティモールYMCAの人材交流がスタート。スタッフ派遣のほか、ながみねファミリーセンターを中心にサッカー用品や文房具などの寄付を続けてきました。

訪問を経て、アントニオ総主事から「支援に感謝しています。送っていただいた品物を子どもたちはとても喜んで使っています」と感謝が伝えられました。



台湾から実習生受入れ

International Camp Counselor Program in Japan

台湾YMCAで日本語を学ぶ学生たちが、夏の期間中、日本のYMCAでボランティアをしながら日本語を学び、交流するICCPJの一環で、7月25日(木)から約1カ月間、台湾からユース1名が実習生として熊本を訪問しました。阿蘇キャンプを拠点に、震災フィールドトリップ、農業支援ボランティア、留学生との交流、キャンププログラムのサポートなどに取り組みました。



右から2人目が実習生の黄愉真さん

機関紙 熊本YMCA NEWS

YMCA's Press

機関紙「YMCA NEWS」を発行し(年11回)、会員や関係団体に熊本YMCAの活動について周知しました。



募金活動 Fundraising

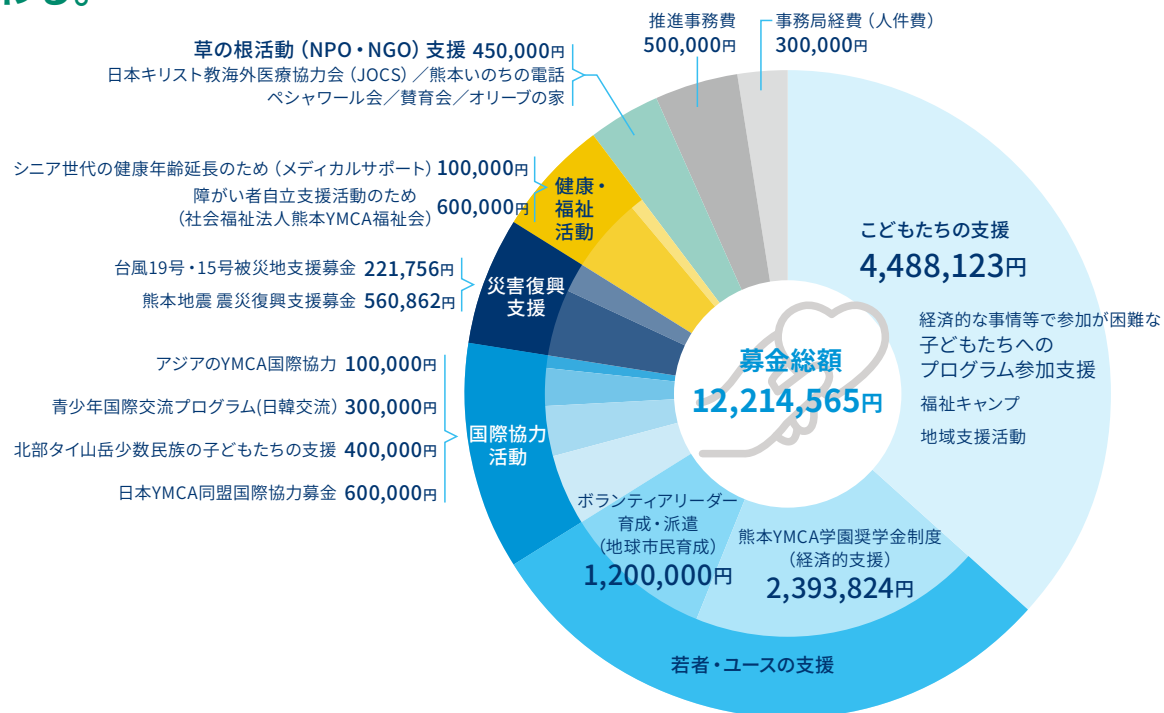
ひとりがよくなると、社会や世界はきっと変わる。

YMCA年末募金

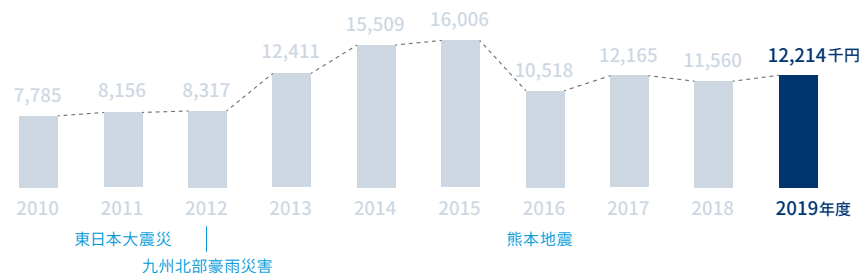
Fund Development Campaign

YMCAは平和を築き、次代を担う子どもたちや若者の成長を育むため、募金活動に取り組んでいます。

2019年度(2019年11月～2020年1月)の年末募金では、前年を上回り1,200万円を超える募金が集まりました。様々な活動に、YMCAを支える会員や地域の皆様の募金が役立っています。



10年間の募金額の推移



ペシャワール会

12月4日、アフガニスタンで長年にわたり農業・灌漑支援に尽力した日本人医師の中村哲さんが銃撃によって殺害された。



中村さんは九州大学YMCAのメンバーで、「ペシャワール会」の設立当時、事務局が福岡YMCA内に設立されるなど、YMCAとの関係も深かった。

社会福祉法人 賛育会

10月12日に静岡県伊豆半島に上陸した台風19号により、長野県千曲川が決壊し、同市の豊野事業所は1階部分が水没するなど甚大な被害を受けた。



2016年の熊本地震では、賛育会から益城町の避難所へ多数の医療従事者が派遣され、避難者の健康維持に携わった。

助成実績 Grant-in-aid Amount

▼参加費減免(通年)

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	82	1,289,940
グローバル教育	3	62,220
YMCA学院	16	2,950,000
合計	101	4,302,160

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	11	156,610
みなみセンター	17	289,580
ながみねファミリーセンター	19	316,000
むさしセンター	38	589,970
YMCA学院 中央校舎	11	1,930,000
YMCA学院 東部校舎	5	1,020,000
合計	101	4,302,160

▼参加費減免(シーズン)

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	5	71,830
グローバル教育	1	7,500
阿蘇キャンプ自主事業	2	6,000
合計	8	85,330

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	3	64,330
みなみセンター	2	7,500
むさしセンター	1	7,500
阿蘇キャンプ	2	6,000
合計	8	85,330

▼地球市民育成(ランゲージスクール学生受講料免除)

事業部門	件数	助成額(円)
グローバル教育	36	1,266,700
合計	36	1,266,700

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	23	780,820
みなみセンター	6	235,870
むさしセンター	7	250,010
合計	36	1,266,700

▼地球市民育成 助成

プログラム	件数	助成額(円)
第24回西日本地区YMCAリーダー研修会(熊本)	2	15,600
第41回国際青少年平和セミナー(広島)	11	550,000
第20回アジア・太平洋YMCA大会(静岡・御殿場) ・第4回ユースアッセンブリー	1	31,070
English Camp for Global Leadership(神奈川)	5	234,214
合計	19	830,884

▼シニア世代の健康増進 メディカルサポート

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	19	334,400
合計	19	334,400

地域センター	件数	助成額(円)
みなみセンター	8	140,800
むさしセンター	11	193,600
合計	19	334,400

【助成総計】

事業部門	件数	助成額(円)
ウエルネス	106	1,696,170
グローバル教育	40	1,336,420
阿蘇キャンプ自主事業	2	6,000
YMCA学院	16	2,950,000
地球市民育成助成	19	830,884
総計	183	6,819,474

地域センター	件数	助成額(円)
中央センター	37	1,001,760
みなみセンター	33	673,750
ながみねファミリーセンター	19	316,000
むさしセンター	57	1,041,080
阿蘇キャンプ	2	6,000
YMCA学院 中央校舎	11	1,930,000
YMCA学院 東部校舎	5	1,020,000
地球市民育成助成	19	830,884
総計	183	6,819,474



活動報告を行うEnglish Camp for Global Leadershipの参加者

YMCAについて About YMCA

YMCAとは

YMCAとは、Young Men's Christian Associationの略称で、キリスト教を基盤とする非営利公益団体です。世界120の国と地域で、およそ6500万人がYMCAの活動に関わり、日本国内では「みつかる。つながる。よくなっていく。」をスローガンに、地域や人々のニーズに合わせた多様なプログラムを提供しています。

YMCAは1844年、産業革命下のイギリス・ロンドンで、同世代の仲間たちの人格的成長や生活改善を願うジョージ・ウィリアムズ(1821～1905)と10人の青年たちによって組織されました。

日本最初のYMCAは1880年(明治13年)、東京で創設。現在では沖縄から北海道まで、約14万人の会員とともに活動しています。熊本YMCAは戦後間もない1948年(昭和23年)に誕生し、公益財団法人、学校法人、社会福祉法人を軸に運営されています。

日本のYMCAは、
全国35都市、200を超える拠点で
14万人が活動を行っています。

About 140,000 Members,
35 YMCAs, more than 200 Facilities in Japan.



YMCAの活動領域



子どもの成長に寄り添う 子育てと子育て

1 保育やアフタースクール、ウエルネスや語学教育といった体験や出会いの場と機会を通して子どもたちの成長に寄り添っています。



若者の力を信じる ユースエンパワーメント

2 幅広い分野の学校や学習の場、ボランティア活動を通して、若者の人間力を育み、その成長を力強く支援しています。



健やかな生活を支える 生活クオリティの向上

3 健康寿命の延伸や知的好奇心の追求を共にし、社会とつながる機会を提供することで人々のいきいきとした健やかな生活を支えます。



社会貢献の地域基盤となる 社会に貢献

4 災害支援やいじめ防止アクション、チャリティー活動など、日本と世界に広がるネットワークを活かして社会貢献の輪を広げています。

概況・統計 Statistics and Association Overview

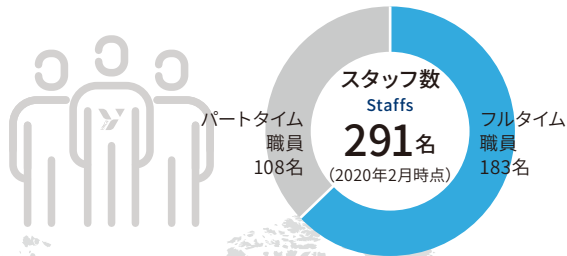
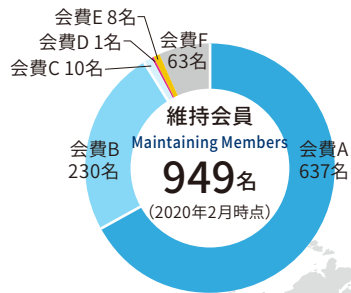
創立 Founding

熊本YMCA 72年 (1948-2020年)
 日本YMCA 140年 (1880-2020年)
 世界YMCA 176年 (1844-2020年)

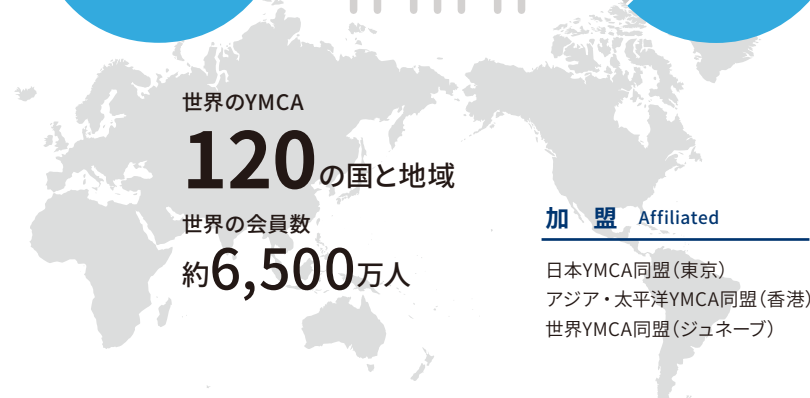
拠点数 Centers
17 拠点
 (2020年4月時点)

プログラム参加者 Members
8,216名
 (2019年10月時点)

公益財団法人…………… 7,237名
 学校法人…………… 729名
 社会福祉法人…………… 250名



5年間の推移 (各年10月時点)

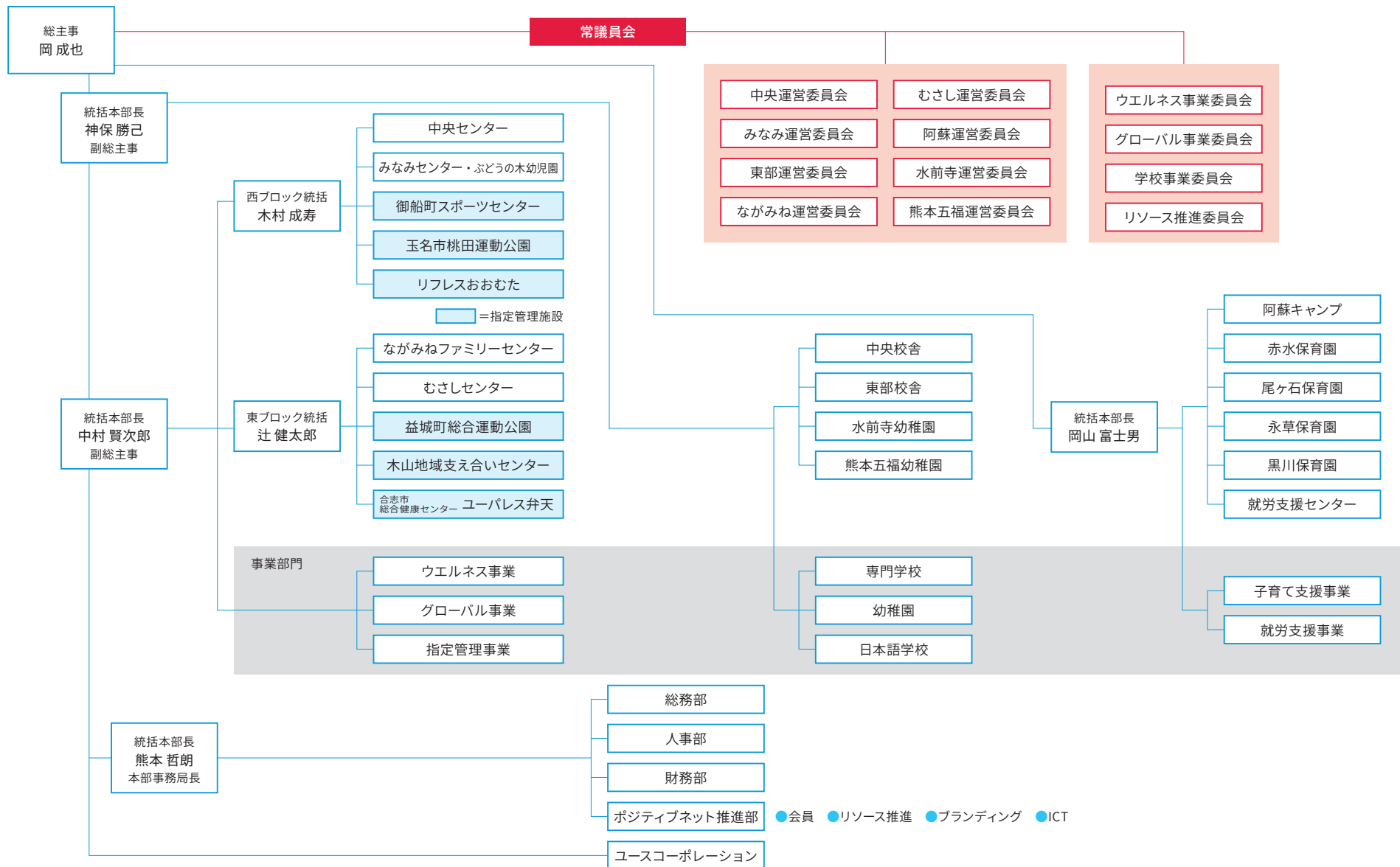


ワイズメンズクラブ Y's Men's Clubs

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 熊本ワイズメンズクラブ…………… 24名 | 阿蘇ワイズメンズクラブ…………… 21名 |
| 熊本ジェーンズワイズメンズクラブ… 38名 | 熊本にしワイズメンズクラブ…………… 20名 |
| 八代ワイズメンズクラブ…………… 8名 | 熊本ネクススワイズメンズクラブ… 8名 |
| 熊本むさしワイズメンズクラブ…………… 19名 | 熊本スピリットワイズメンズクラブ… 14名 |
| 熊本みなみワイズメンズクラブ…………… 23名 | 熊本水前寺ワイズメンズクラブ…………… 16名 |
| 熊本ひがしワイズメンズクラブ…………… 19名 | 熊本五福ワイズメンズクラブ…………… 20名 |
| 宮崎ワイズメンズクラブ…………… 8名 | |

部門\拠点		中央	みなみ	東部	ながみねファミリー	むさし	水前寺幼稚園	熊本本福幼稚園	社団法人	合計
ウエルネス	成人健康	—	728	—	193	610	—	—	—	1,531
	こども健康	240	1,494	—	1,502	1,309	—	—	—	4,545
	野外	28	—	—	—	—	—	—	—	28
グローバル教育	成人語学	166	27	—	3	26	—	—	—	222
	こどもえいご	81	265	—	195	183	—	—	—	724
専門学校(全日制)	147	—	71	—	—	—	—	—	218	
専門学校(通信制)	—	—	203	—	—	—	—	—	203	
日本語学校	7	—	104	—	—	—	—	—	111	
アフタースクール	—	12	—	41	13	—	—	—	66	
発達障がい支援	—	19	—	13	—	—	—	—	32	
放課後等デイサービス	18	—	—	—	—	—	—	—	18	
幼稚園	—	—	—	—	—	129	57	—	186	
幼児園	—	82	—	—	—	—	—	—	82	
保育園	—	—	—	—	—	—	—	250	250	
合計	687	2,627	378	1,947	2,141	129	57	250	8,216	

2020年度組織 Organizational Structure



熊本YMCA役員・委員 Board and Committee Members

2019年度

◎委員長 ○副委員長 ◇担当職員

公益財団法人 熊本YMCA

理事長	岡 成也					
理事	加藤 國博	中村賢次郎	日野 充裕	福島 貴志		
	藤本 義隆	山内 恵美				
監事	藤田 香織	森 博之				
評議員	生駒 春美	岩本 芳久	立野 泰博	西 章男	西川 晶子	
	平山 俊生	宮崎 隆二	吉岡 久美	吉本貞一郎	来海 恵子	

学校法人 熊本YMCA学園

理事長	岡 成也					
理事	井上 和美	福島 貴志	宮崎 隆二	西 章男	吉岡 久美	
監事	岩本 守弘	守田 富男				
評議員	岡 成也	上村 文美	加藤 泰文	熊本 哲朗	佐藤 通彦	
	土山 真也	西 章男	西川 晶子	福島 貴志	福山 裕敏	
	宮崎 隆二	宮本 昌宣	吉岡 久美			

社会福祉法人 熊本YMCA福祉会

理事長	岡 成也				
理事	内村 優	岡山富士男	久保 誠治	高橋 壘	
	藤崎 三郎	二子石真弓			
監事	桑本 ゆき	藤本猪智郎			
評議員	川上 安生	木村 仁美	五嶋 義行	林田 絹子	
	武藤 興紀	山口 貴生	山本 章夫	山本 直樹	

熊本YMCA常議員

生駒 春美	岩本 芳久	岩本 守弘	佐藤 通彦	加藤 國博	立野 泰博
西 章男	西川 晶子	平山 俊生	福島 貴志	藤田 香織	藤本 義隆
宮崎 隆二	森 博之	守田 富男	山内 恵美	吉岡 久美	吉村 千恵
吉本貞一郎	来海 恵子	岡 成也			

中央運営委員会	◎生駒 春美	○西 章男	岡田 茂美	小山 徹	木山 彫子	金澤 知徳
	下舞 陸哉	林田 博文	福田 稠	北條 将人	中尾 桂子	村田紀美子
	(守田 富男)	和田 修一	◇山田 真二			

みなみ運営委員会	◎森 博之	○岩本 守弘	○岩永 福子	麻生 尚哉	岩瀬 英次	内村 忠生
	高山 與子	後藤 慶次	杉野 茂人	時任幸四郎	中川 洋一	中村 邦雄
	中村 陽志	藤元 俊輔	村上 博	米倉 容子	◇木村 成寿	

東部運営委員会	◎加藤 國博	○角本 浩	赤星文比古	秋成 洋	金 聖孝	紫垣 正仁
	那須 久史	西田 晶子	広瀬美貴子	本堀 秀一	横田 佳恵	◇尾道 一幸

ながみね運営委員会	◎平山 俊生	○田上 裕章	○横田 博	石橋 綾	小川祐一郎	柏原 芳則
	片山 隆	門永 充弘	菅 正康	竹本 雄一	馬場 淑之	◇丸目 陽子

むさし運営委員会	◎来海 恵子	入佐 孝三	桑原純一郎	最相 博子	島村 保夫	高橋 良明
	田北康一郎	田上 正	林田 秀平	斐 東 烈	両角 彰則	山部 裕輝
	米村 謙一	◇辻 健太郎				

阿蘇運営委員会	◎藤本 義隆	○篠崎 泰子	内村 優	梅井 俊夫	五嶋 義行	竹原 憲朗
	藤本猪智郎	松岡 省吾	武藤 興紀	吉村 千恵	◇本田奈緒子	

水前寺運営委員会	◎山内 恵美	伊藤 七海	白木 尚登	本田 光夫	山下 知美	◇福山 裕敏
----------	--------	-------	-------	-------	-------	--------

熊本五福運営委員会	◎岩本 芳久	○岩本 悟	上野美恵子	佐藤 通彦	東 菜保子	水元 裕二
	◇井上 和美					

ウエルネス事業委員会	◎守田 富男	有吉 亮	岡崎 源次	木佐貫浩一	俵 哲	橋本 公雄
	◇土山 真也					

グローバル事業委員会	◎立野 泰博	木下慎太郎	坂本 美穂	藤井 資子	前田香代子	棟方 信彦
	(吉本貞一郎)	◇岩切かおり				

学校事業委員会	◎吉岡 久美	○上村真智子	荒木由起子	岩切 和子	江口 清一	亀浦 正行
	広渡 純子	守田 義彦	◇加藤 泰文			

リソース推進委員会	◎吉本貞一郎	秋根 年子	今村 秀夫	大崎 隆義	田中 俊夫	西川 晶子
	藤田 香織	山田 芳之	◇因幡 亮治			



みつかる。つながる。よくなっていく。